

SDGs HYOGO青年チャレンジ事業活動報告

但馬アーツコモンズ

—地域と芸術文化をつなぐ新たなプラットフォームの挑戦—

2025年2月15日

目次

1. 但馬アーツコモンズについて
2. 2024年度主な活動実績
3. まとめと今後の展望

但馬アーツコモンズ

【はじめに～団体の理念と背景～】

ミッション

- ①地域と芸術文化を結び、
「誰でも気軽にみれる・つくれる・かかわれる」環境を創出する
- ②協力・共生・共同して地域貢献の意識を継承する

● 背景

- SDGsを共通認識として、演劇の可能性や私たちができることの幅を広げる
- 2024年9月に正式にNPO法人として認可



【2024年度 主な活動概要】

- 5月：演劇体験ワークショップ「演劇ってなんだろう？」
- 6月・10月：「バスカフェ」
- 10月：「ヘンテコウィーク」
- 4月～現在まで：SNS発信プラットフォーム「HIBO commons」

【2024年度 主な活動概要】

- 5月：演劇体験ワークショップ「演劇ってなんだろう？」

- 対象：中高生向け
- 目的：演劇への入り口を提供し、創造性を引き出す

4つのワークショップを実施。総参加者数：中高生**46名**（+新大学生**16名**）

- 6月・10月：「バスカフェ」

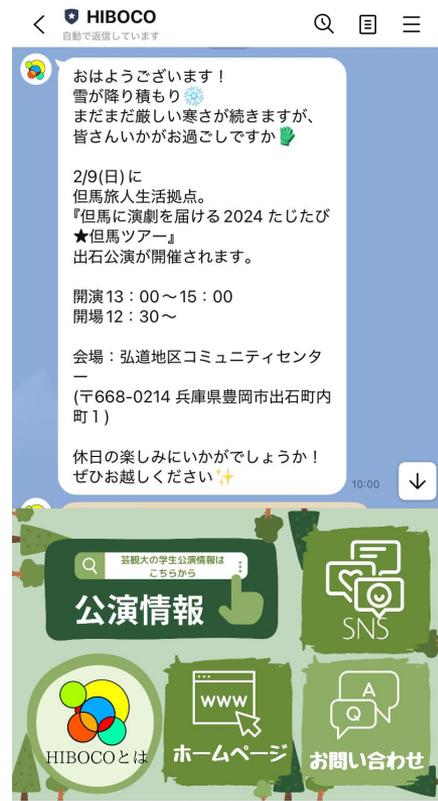
- 全但バス・ひよコモンズと連携
運送していないバスの内部を改装し、
子どもたちがくつろげる空間を作る。
一回目対象：高校生
二回目対象：未就学児

- 2回実施、来場者数：6月**154人**、10月**380人**



【2024年度 主な活動概要】

- 10月：「ヘンテコウィーク」
 - 江原区住民の協力を得て実施。地域住民の出演する作品も多数
 - **28演目、36イベント、合計2161名**の来場実績
 - クラウドファンディングを実施し目標金額**50万円**を達成
- 4月~現在まで：SNS発信プラットフォーム「HIBO commons」
 - 豊岡市を中心に、但馬地域の芸術団体イベント情報を発信
 - 2024年度は**76公演**が利用（2/10まで）



SDGs 目標11

～ 住み続けられるまちづくりを～



【SDGs 目標11 ～ 住み続けられるまちづくりを～】

● 広報発信の工夫

- 但馬アーツコモンズを媒体に、地域の芸術文化情報や各施設の情報を分かりやすく発信
- 紙媒体とSNSを活用し、デジタルに疎い方も対象

<https://line.me/R/ti/p/@296iccdj>

● 持続可能な文化データの活用

- 活動記録、知識、技術の蓄積により、学習の機会や文化の継承を実現
- 「HIBO commons」による情報発信

HIBOCOがHIBO commonsに！
HIBO commons
芸術情報を手軽にゲット！
お届け します！

HIBO commonsとは
但馬アーツコモンズと芸術文化センターが連携し、芸術文化活動を「HIBO commons」として2023年に誕生しました。
「但馬芸術文化センター」を母体として、但馬アーツコモンズと連携し、芸術文化活動を「HIBO commons」として2023年に誕生しました。

豊潤の芸術イベント情報を 各種SNSで広報しています！
情報は下記のQRコードのフォームから！

ひよこ commonsの活動
公演記録の発信や展示会、イベントの運営など、様々な活動を行っています。
SNSでは、最新公演の予約フォームや公演団体の情報、日々の活動も合わせてお届しています。
ぜひ、覗いてみてください！

お問い合わせ
cat@artwork@hpbma.com
または、各のフォームから

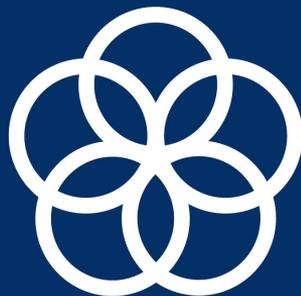
ぜひご登録ください！



SDGs 目標17

～ パートナーシップで目標を達成しよう～

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



【SDGs 目標17 ～ パートナーシップで目標を達成しよう～】

● 連携の現状と課題

- 複数の文化施設（江原河畔劇場、豊岡市民プラザ、城崎国際アートセンターなど）が個別に広報をしているため演劇のまちづくりとしての一帯が見えない。
- 芸術文化観光専門職大学生が地域の需要に応えるための技能不足

● 但馬アーツ commons の役割

- 中間支援として各団体の広報をまとめ、足並みを揃えた連携を推進
- 大学サークル「ひよ commons」と連携し、企画運営のための技能を継承*

● 具体的連携事例

- **HIBO commons**：各団体の公演情報を一つのメディアで発信
- **バスカフェ**：全但バス株式会社、ひよ commons との協働で異分野の融合
- **ヘンテコウィーク**：
地域住民と芸術関係者の交流促進
（ワークショップ、トークイベントなど）

*** 自由放任主義(ラッセフェール教育)**
子どもの自主性を最大限尊重し、
大人が過度に介入しない方針を指します。



まとめと今後の展望

【まとめと今後の展望】

- 今年度の成果

「演劇ってなんだろう？」

NPO法人プラッツ・豊岡市民プラザと連携
計62名の若者が参加し、演劇への関心を拡大

「バスカフェ」

全但バス・ひよコモンズと連携
2回開催、合計534人の来場

「ヘンテコウィーク」

地域住民と協働し、まち全体を会場として使用
28演目・36イベント、合計2161名が参加

「HIBOコモンズ」

豊岡市民会館、江原河畔劇場、豊岡市民プラザ、城崎国際アートセンター、
芸術文化観光専門職大学などと連携し主催事業を発信
地域芸術イベント情報を76公演発信

【まとめと今後の展望】

● 今後の展望

①連携体制のさらなる強化と、持続可能な文化発信の深化

→豊岡の**演劇のまちづくり**を発信するサイトを開設し、**記事の連載**を開始

②蓄積したデータと経験をもとに、次年度以降も地域の芸術文化の発展に貢献

→**地域住民が集い芸術文化と触れ合える駄菓子屋「オモテ屋」**の開業

「オモテ屋」は、定期的なワークショップや朗読公演、勉強会を開催予定

・ **ヘンテコウィーク（地域密着型芸術祭）**

・ **新設サイト（地域の芸術情報発信）**

→ 3つの芸術プロジェクトの相乗効果による飛躍を狙う

・ **オモテ屋（芸術文化コミュニティスペース）**

支援・協力いただいた全パートナー、地域住民、参加者の皆様に深く感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました



但馬アーツコモンズ

hiboco.npo@gmail.com





















